今月の特選句

画用紙に大きお日さま花菜風

百合子

俳句では幼くなりがちな「お」の接頭語はタブーとされる。しかし掲句では絵の作者が幼子であることが容易に想像され、効果的に使われている。屋外での写生の子等に寄りそっている菜の花の吹きわたる景がありありと見えてくる。

【俳夢句会　講師　髙橋白崔】